

政策提言セミナー

政策提言のポイント再点検

NPO法人 シーズ・市民活動を支える制度をつくる会

北澤 哲弥

日時 平成24年1月20日（金）

場所 環境パートナーシップオフィス



NPO法人

シーズ・市民活動を支える制度をつくる会

「市民活動を支える制度をつくる、
それにより人々の社会を変える力を強くする」

シーズは1994年の設立以来、この理念に基づいて、NPO法
制定/認定NPO制度、NPO会計基準の策定など、
市民活動を支える制度づくりに一貫して取り組んできました。

NPOの社会的な役割

市民の力を束ね、
社会的な課題を解決する存在



どう解決するか？

- 自ら実践する
- 社会の意識改革を進める
- 他のセクターをチェック
- 他のセクターと協働
- 政策提言（狭義）



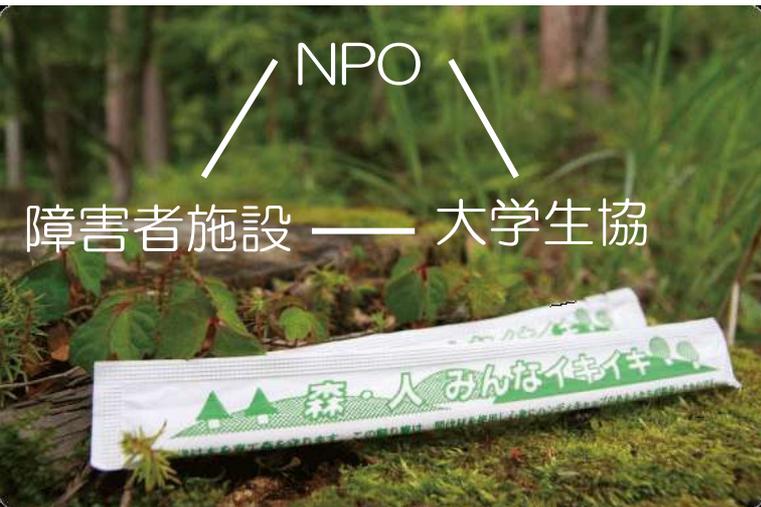
自ら実践



社会の意識改革を進める

市民オンブズマン等

他のセクターをチェック



他のセクターと協働

政策とは？

行政機関に対して「〇〇をやって」と要望する、働きかけることが政策提言

提言する相手がやれること、やれないことをしっかりと調べておくことが大切。

行政政策評価法によれば—
「政策」とは、行政機関が、その任務又は所掌事務の範囲内において、一定の行政目的を実現するために企画及び立案をする行政上の一連の行為についての方針、方策その他これらに類するもの

行政とゴールを共有できない場合（行政のニーズに合わない場合）、提言してもうまくいかない。

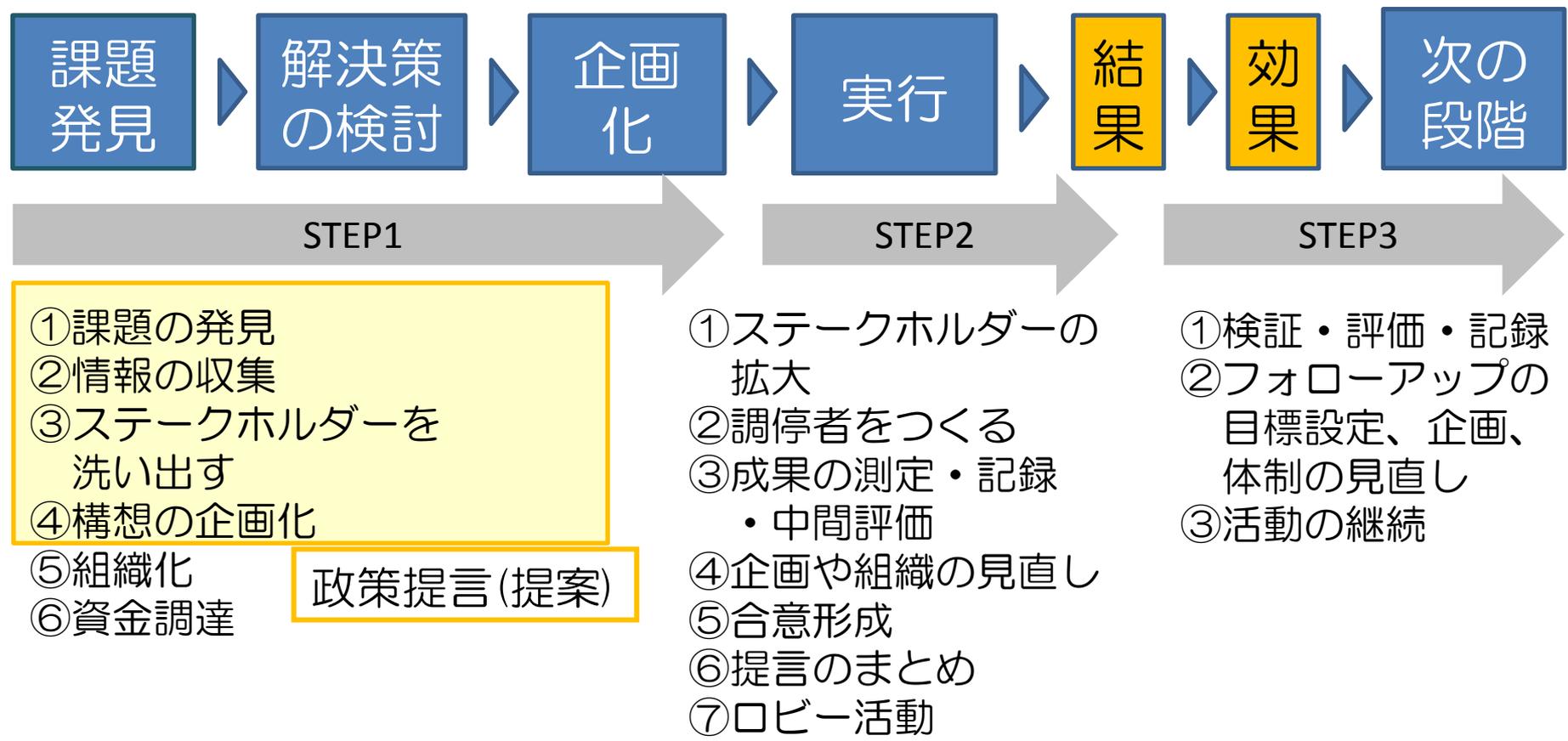
政策提言とは？

政策は、社会的な行動を規制したり、資源を分配するルールであり、多数の市民を強制的に巻き込む力を持つ。社会への高い波及効果。

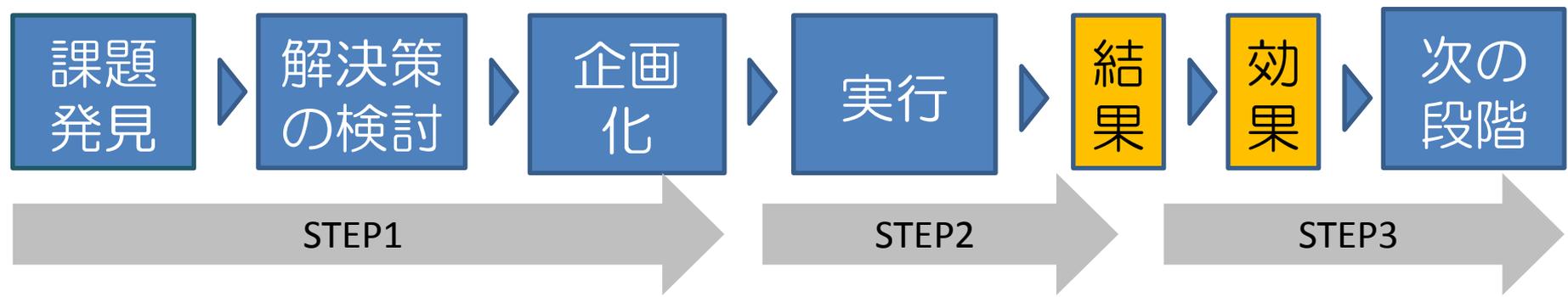
NPOにとって政策提言（提案）とは、行政機関が行う「方針、方策等」を提案し、行政にその採用を求める活動。

NPOにとって政策提言（実現、アドボカシー）とは、提言した政策を行政に採用・実行させることによって、団体の目的を達成しようという活動。

アドボカシー活動のプロセス



アドボカシー活動のプロセス



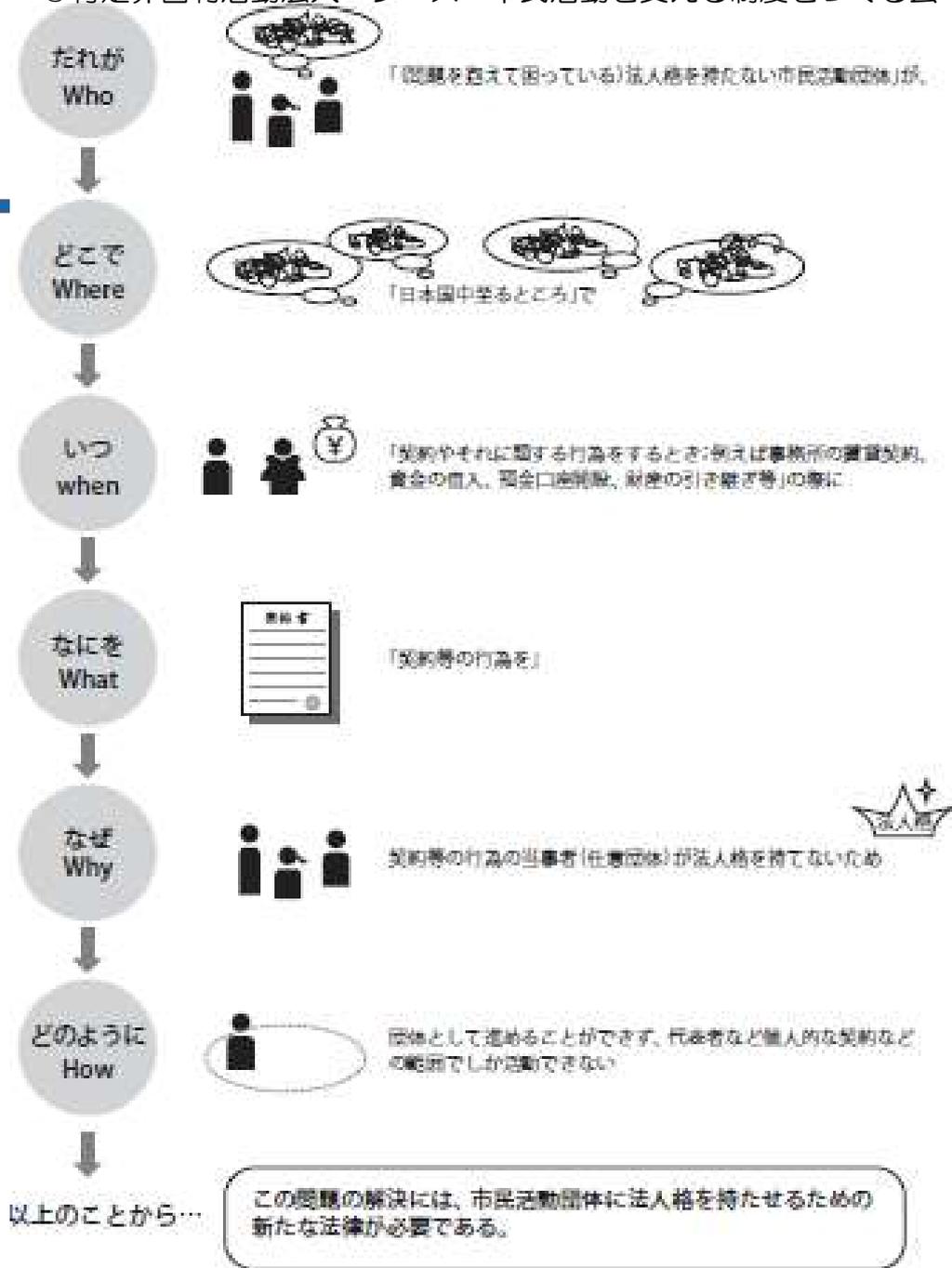
- ①課題の発見
- ②情報の収集
- ③ステークホルダーを洗い出す
- ④構想の企画化
- ⑤組織化
- ⑥資金調達

- ①ステークホルダーの拡大
- ②調停者をつくる
- ③成果の測定・記録・中間評価
- ④企画や組織の見直し
- ⑤合意形成
- ⑥提言のまとめ
- ⑦ロビー活動

- ①検証・評価・記録
- ②フォローアップの目標設定、企画、体制の見直し
- ③活動の継続

情報の収集(p.9)

- 解決したい課題を明確にする (立法事実)
- 具体的な事例を集める
- 優先的に解決されるべき課題か?
※他に困っている人は?



解決したい課題を明確に

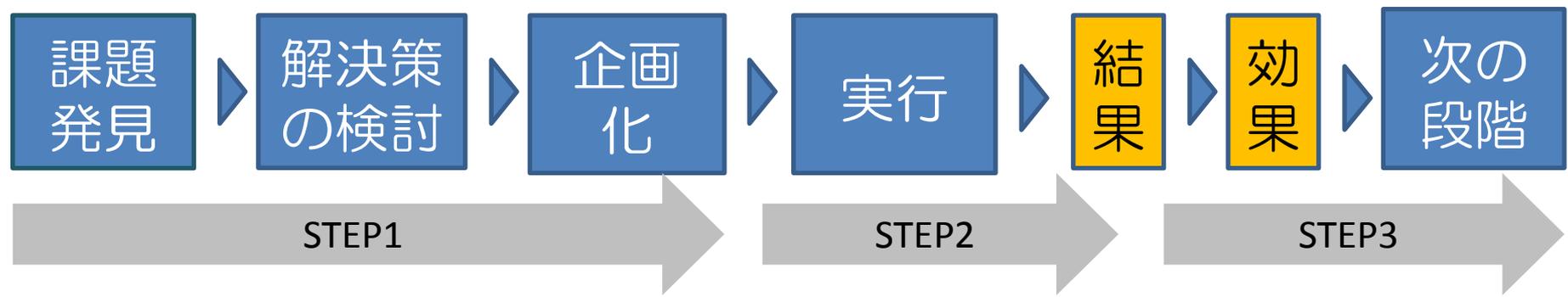
誰が(Who)	
いつ(When)	
どこで(Where)	
なにを(What)	
なぜ(Why)	
どのように(How)	
具体的事例 証明方法	

課題が解決されないデメリット(たくさん)

誰にとって(Whom)	
いつ(When)	
どこで(Where)	
なにが(What)	
なぜ(Why)	
どの程度(How)	
証明方法	

☆課題は解決されないと本当に大変なの？ 重要なことなの？ 緊急なことなの？

アドボカシー活動のプロセス



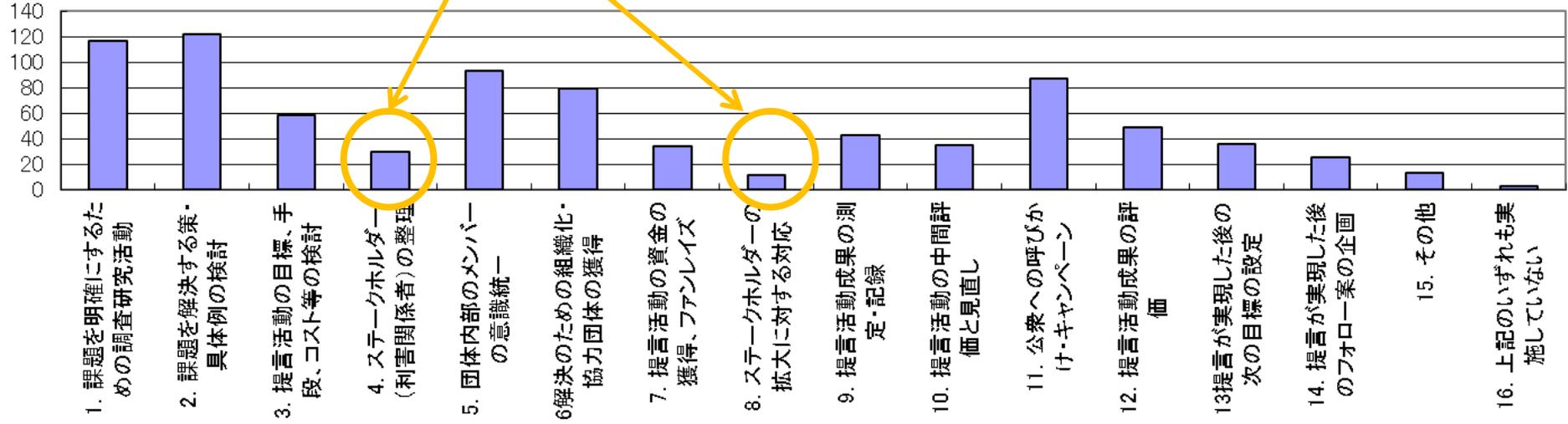
- ①課題の発見
- ②情報の収集
- ③ステークホルダーを洗い出す
- ④構想の企画化
- ⑤組織化
- ⑥資金調達

- ①ステークホルダーの拡大
- ②調停者をつくる
- ③成果の測定・記録・中間評価
- ④企画や組織の見直し
- ⑤合意形成
- ⑥提言のまとめ
- ⑦ロビー活動

- ①検証・評価・記録
- ②フォローアップの目標設定、企画、体制の見直し
- ③活動の継続

アドボカシー活動の現状 (シーズ2011調べ)

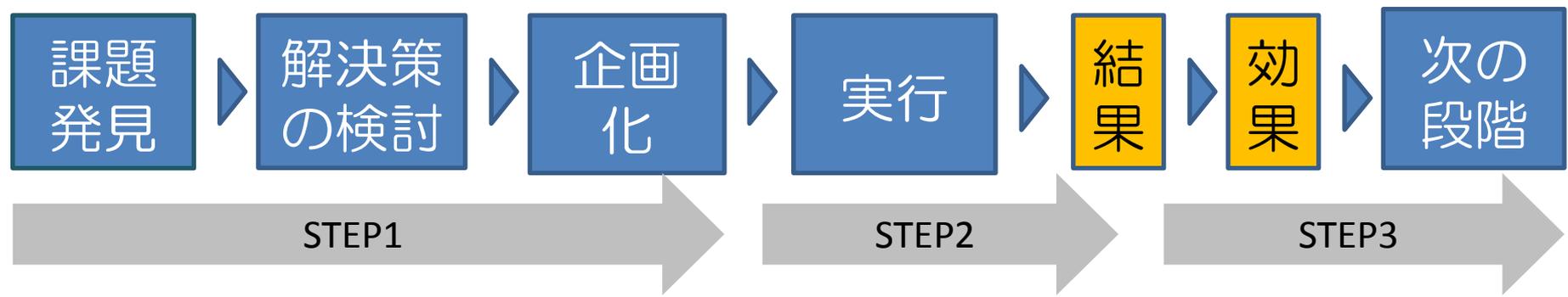
ステークホルダーに関する取り組みは非常に弱い



課題のステークホルダー

組織・人	具体名	課題に対する立ち位置(ポジション)・利害の内容
環境省		
政府		
他省庁		
政党・議員		
自治体		
企業・業界		
外国政府		
NGO/NPO		
研究者・学者		
国際機関		
専門機関		
地域住民		
その他		
自団体		

アドボカシー活動のプロセス



- ①課題の発見
- ②情報の収集
- ③ステークホルダーを洗い出す
- ④構想の企画化
- ⑤組織化
- ⑥資金調達

- ①ステークホルダーの拡大
- ②調停者をつくる
- ③成果の測定・記録・中間評価
- ④企画や組織の見直し
- ⑤合意形成
- ⑥提言のまとめ
- ⑦ロビー活動

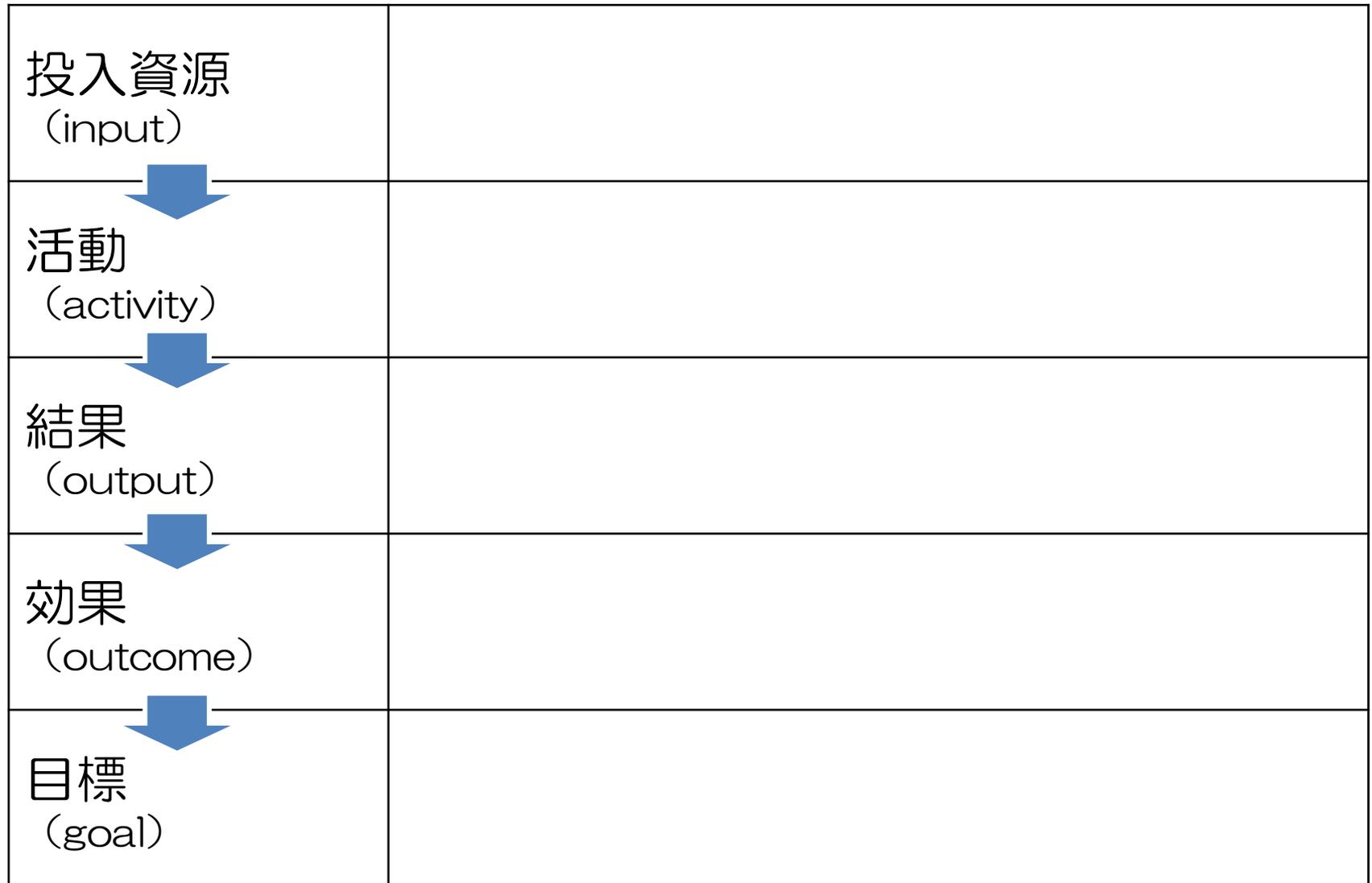
- ①検証・評価・記録
- ②フォローアップの目標設定、企画、体制の見直し
- ③活動の継続

誰がどう変われば課題が解決する？

誰を	
いつ（までに）	
何を	
どのように	
どの程度（量・比較）	
変えれば（アウトプット）	
どの課題は	
いつ（までに）	
どの程度	
どのように	
解決するのか（アウトカム）	

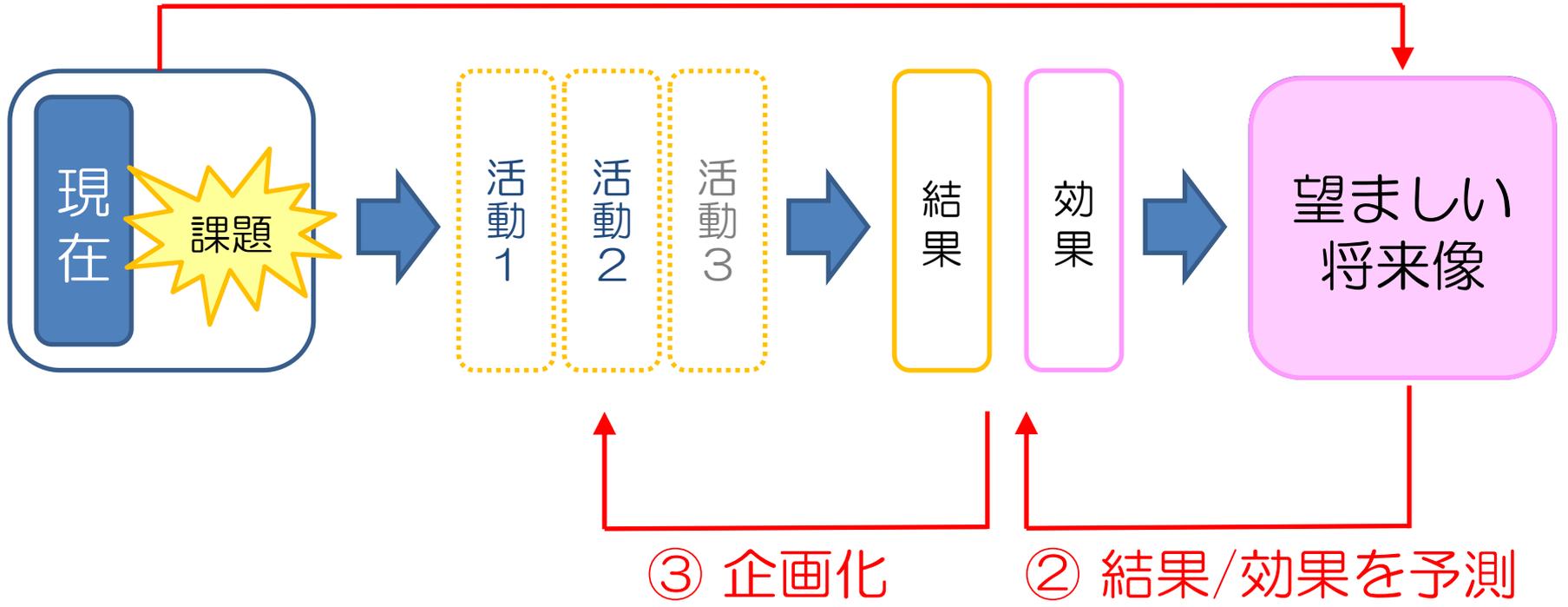
☆解決策は、他の機関や団体がやっていることとどう違うかもはっきりさせよう。他がやっていることと同じことはやる必要がない。

() 政策・事業

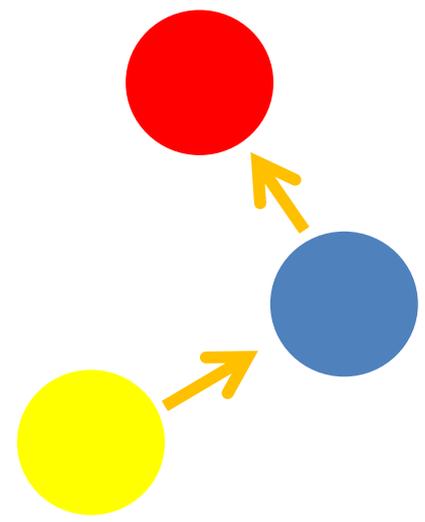


結果/効果を予測して活動を企画 (p.15)

① 将来像を描く



小さい力を効果的に使い 大きく動かす (p.15)



ステークホルダー

- 行政
- 議員
- 土地所有者
- 地域住民
- 企業
- 研究者
- マスコミ
-
-
-

個々の活動

- ロビー活動
- 提言書
- 事業提案
- セミナー・勉強会
- 国際会議
- ネットワーク
- 協議会
- パブリックコメント
- デモ活動
- マスコミの活用
- キャンペーン
- ファンドレイジング
- 観察会
- 調査活動
- 活動記録
-
-
-

() 政策・事業



投入資源 (input)	予算、人員、スケジュール（時間）など、政策を実施するために投入される資源。 ※スケジュールは、問題の状況や相手の都合に留意。
↓	
活動 (activity)	投入資源を用いて実際に行われる具体的な活動。誰に、いつ、何を、どのようにして、何回、おこなうか。 ★小さい力で大きく動かす
↓	
結果 (output)	活動によって生み出される直接的な結果・成果物。
↓	
効果 (outcome)	結果によって生み出される社会への間接的な効果。
↓	
目標 (goal)	望ましい将来像など、最終的に達成したい目標。

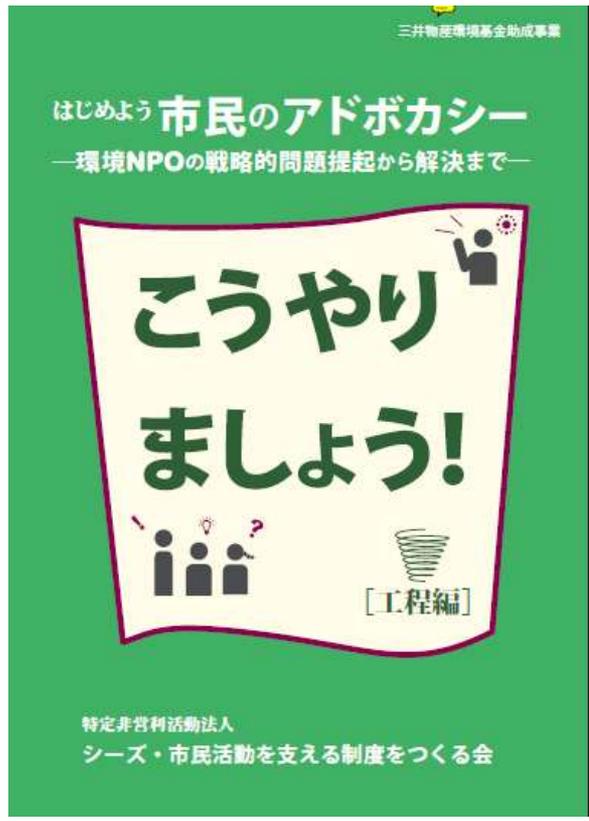
★バックキャストिंगで考える。

C'sブックレットシリーズ No.12&13

はじめよう市民のアドボカシー

～環境NPOの戦略的問題提起から解決まで～

お問い合わせはシーズのHP
“NPO WEB” まで



環境NPOのためのアドボカシー入門

政策提言 成功への道！

～環境問題を根っこから解決する活動プロセスを身につけよう～

<http://env-advocacy.jp/>



環境NPOのためのアドボカシー入門
政策提言 成功への道！
 ～環境問題を根っこから解決する活動プロセスを身につけよう～

メールマガジン登録 ▶

アドボカシーとは セミナー案内 環境政策 公募情報 活用事例

市民参加で環境を守ろう

「川の水をきれいに」
 「森を大切に」
 「大気汚染」

特集
生物多様性

わたしにもできる！「環境政策提言」

政策提言って難しそう。現場で活動する自分たちには関係ない。そう思っていないですか？

環境NPOのための政策提言実践セミナー 「環境アドボカシー 成功への道！」

Part1 2日連続講座 「**ロビー活動**を『自分ごと』で考えよう」

講師：草刈秀紀氏（市民がつくる政策調査会）

日時：2012年**1月28日（土）** 14：00～16:00

1月29日（日） 13：00～16:00

※ 2日連続で参加できる方に限ります。

会場：TKP新橋ビジネスセンター カンファレンスルーム3C

（東京都・港区）

Part2 「狭山丘陵発 ここがポイント！**ステークホルダー**とのつきあいかた」

講師：永石文明氏（東京農工大学非常勤講師）他

日時：2012年**2月4日（土）** 10:00～16:00

会場：さいたま緑の森博物館 展示ホール（埼玉県・入間市）

※定員いずれも20名（先着順）

ご清聴ありがとうございました。
